

# 藝大ファイナルハーモニア管弦楽団定期演奏会

2つの「最後の交響曲」。これは辿りついた答えなのか、あるいは、新たな問い、なのか。

## ショスタコーヴィチ： 交響曲第15番 イ長調 op.141

Dmitry Dmitrievich Shostakovich (1906-1975) :  
Symphony No.15 in A major op.141

## ニールセン： 交響曲第6番 《素朴な交響曲》

Carl August Nielsen (1865-1931) :  
Symphony No.6 'Sinfonia semplice'

指揮：高関 健

Conductor : Ken Takaseki

2024 4.25 thu

東京藝術大学奏楽堂 (大学構内)

開演 19:00 (開場 18:15) ¥4,000 (全席指定)

| 主催 | 東京藝術大学音楽学部・東京藝術大学演奏芸術センター



2つの「最後の交響曲」。これは辿りついた答えなのか、あるいは、新たな問い、なのか。

今回の藝大フィルハーモニア管弦楽団定期演奏会では、2人の交響曲作曲家が20世紀に書いた2つの「最後の交響曲」を採りあげます。

交響曲作曲家が残した最後の交響曲というと、どのようなイメージがありますでしょうか。たとえば、技術的にもサイズ的にもそれまでの総決算のような作品。モーツァルトの第41番『ジュピター』やベートーヴェンの『第九』には、最後の作品だからこそなしたというような、カタルシスがあります。シベリウスの場合は単一楽章である第7番のなかに、音楽性を凝縮させました。

あるいは、近づいて来る「死」が意識された作品。もちろん「死」に対する考えはひとによって異なりますが、ブルックナーやマーラー、チャイコフスキーらの交響曲は死と関連付けられて語られることが多いでしょう。

いま名前をあげた6人の作曲家に関わらず、ハイドン、シューベルト、シューマン、ブラームス、ドヴォルザークなど、やはり多くの作曲家にとって「最後の交響曲」は、まさに「有終の美」であるという、そのようなイメージがあるのではないのでしょうか。しかし、ニールセンとショスタコーヴィチの「最後の交響曲」は、そのような図式に当てはめるのがむずかしい作品かもしれません。彼らが最後に遺したものは、人生の最後に辿りついた答えだったのでしょくか。あるいは、新しい問い、なのでしょう。

そうしたことにも思いを馳せながら、互いに新たなステージを歩み始めている高関健と藝大フィルによる、生ではなかなか聴くことのできない渾身のプログラムをぜひ奏楽堂でご堪能ください。

## 高関 健 (指揮)

Ken Takaseki, Conductor



国内はもちろんのこと、世界に名だたる名門オーケストラから豊富な響きを引き出して聴衆や楽員から大絶賛を受けたサントペテルブルグ・フィル定期演奏会など海外への客演も多く、イツァーク・パウルマン、ミッシェル・マイスキー、ピエール・ブレーズ、ギドン・クレーメル等の世界的ソリストや作曲家、特にマルタ・アルゲリッチからは3回の共演を通じて絶大な信頼を得る、緻密なスコア分析からスケールの大きな音楽を作り出す名匠。オペラでも新国立劇場ウラジオストクとサントペテルブルグでの團伊玖磨「夕鶴」、大阪カレッジオペラでのプリテン「ピーター・グライムズ」をはじめ、2021年には新国立劇場でストラヴィンスキー「夜鳴きうぐいす」とチャイコフスキー「イオランタ」を指揮、作品の魅力を存分に伝えて高い評価を得ている。国内主要オーケストラで重職を歴任し、現在東京シティ・フィル常任指揮者(2015年4月〜)、富士山静岡交響楽団首席指揮者(2021年4月〜)、仙台フィル常任指揮者(2023年4月〜)を務める。1977年カラヤン指揮者コンクールジャパン、1984年ハンス・スワロフスキー国際指揮者コンクール優勝。第4回渡邊暁雄音楽基金音楽賞、第10回齋藤秀雄メモリアル基金賞、第50回サントリー音楽賞を受賞。NHK等の番組にも定期的に出演するなど、幅広い活躍を続けている。

## 藝大フィルハーモニア管弦楽団

The Geidai Philharmonia Orchestra, Tokyo



藝大フィルハーモニア管弦楽団は東京藝術大学に所属するプロフェッショナル・オーケストラ。定期演奏会や「モーニング・コンサート」などを行うほか、指揮科学生との演奏会・試験・演習、東京藝大ジュニア・アカデミーとの共演など、学生の演奏経験の拡充にも資している。学外でも、近年では新国立劇場、彩の国さいたま芸術劇場、また長崎県、新潟県、秋田県での公演が好評を博したほか、海外では2017年6月のチリでの4公演(日本・チリ修好120周年記念)に続き、2023年12月にはアルゼンチンのコロン劇場(Teatro Colón)での公演で聴衆を魅了した。(公社)日本オーケストラ連盟準会員。

## 藝大フィルハーモニア管弦楽団 定期演奏会

2024年4月25日(木) 東京藝術大学奏楽堂(大学構内)

開演 19:00(開場 18:15) ¥4,000(全席指定)

チケット取り扱い **3/6(水)発売**

◇ヴォートル・チケットセンター

<https://www.ticket.votre.co.jp>

TEL: 03-5355-1280/平日 10:00~18:00

◇東京文化会館チケットサービス

<https://www.t-bunka.jp/tickets>

TEL: 03-5685-0650/10:00~18:00(休館日を除く)

店頭販売: 10:00~19:00(休館日を除く)

◇東京芸術大学生活協同組合(店頭販売のみ)

TEL: 03-3828-5669

営業日時はウェブサイトでご確認ください。

<https://www.univcoop.jp/geidai/>

◇イープラス(e+) <https://eplus.jp>

◇チケットぴあ

<https://t.pia.jp> (Pコード 264-657)

※車椅子をご利用のお客様は、ヴォートル・チケットセンター TEL: 03-5355-1280(平日10時~18時)までお問い合わせください。

※感染症対策につきましては、最新情報をウェブサイト等でお知らせしておりますので、ご来場の前にご確認ください。

※就学前のお子様のご同伴・入場はできませんので、ご了承ください。

※スケジュール・曲目・出演者等は都合により変更となる場合がありますので、ご了承ください。

東京藝術大学奏楽堂 [大学構内]

〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8



交通のご案内

■JR上野駅(公園口)・鶯谷駅(南口)、東京メトロ千代田線根津駅より徒歩10分

■京成線京成上野駅、東京メトロ日比谷線・銀座線上野駅より徒歩15分

※駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください。

— お問い合わせ —

東京藝術大学演奏芸術センター TEL: 050-5525-2300  
東京藝術大学ウェブサイト <https://www.geidai.ac.jp>



フライヤーデザイン: 田上碧(演奏芸術センター教育研究助手)